

皮膚の状態の計測④（真皮の厚みやコラーゲン量を測る）

事例	皮膚の「真皮の厚み」や「コラーゲン・スコア」を測定し、数値化しました。												
試験内容 と結果	<p>超音波真皮画像装置は、プローブを皮膚にあてて取得した画像から、皮膚の状態に関する3つの項目を簡単に解析します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;">超音波真皮画像の解析例</p> <table border="1" data-bbox="956 468 1422 613"> <thead> <tr> <th></th> <th>左</th> <th>右</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真皮厚 (μm)</td> <td>869</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>エッジバンド (μm)</td> <td>79</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>コラーゲンスコア</td> <td>117</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コラーゲン・スコア：真皮中のコラーゲン密度を表し、値が大きいほどコラーゲンが豊富で真皮の状態が良いといわれる。 ◆ 真皮厚：真皮コラーゲンの厚みを表し、狭く詰まった状態が良い状態といわれる。 ◆ エッジバンド：表皮の直ぐ下のコラーゲンの減少により生じるコラーゲンの少ない部分の幅を表す。加齢や光老化の影響を表し、小さい程、真皮上層コラーゲンの状態は良いといえ </div> </div> <p>上の画像の場合、左の方が、コラーゲンスコアが高く、より良好な皮膚であると判断されます。化粧品やサプリメントなどの継続使用による皮膚の状態変化を測定することで、試験品のスキンケア効果やアンチエイジング効果を客観的に示すことができます。</p> <p>※実際に皮膚に塗布して評価試験を行うにあたり、試験物の皮膚への安全性が保証されている必要があります。人の皮膚を対象として試験を行う場合は、事前に職員へお問い合わせください。</p>		左	右	真皮厚 (μm)	869	843	エッジバンド (μm)	79	92	コラーゲンスコア	117	64
	左	右											
真皮厚 (μm)	869	843											
エッジバンド (μm)	79	92											
コラーゲンスコア	117	64											
使用装置	<p>超音波真皮画像装置（平成30年度電源立地地域対策交付金）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メーカー名:Cortex Technology 社 型 式:DermaLab 【機器の概要】 プローブを皮膚にあてて画像を取得し、「コラーゲン・スコア」「真皮の厚み」「エッジバンド」を可視化・定量化する</p> </div>												
使用料	超音波真皮画像装置 1,200円/時間												